

議会だより

しばやま

No. 97

2012.11.1

平成24年 第3回芝山町議会定例会

提出議案	2～ 4
一般質問(6名)	5～10
全員協議会質疑	11
常任委員会質疑	12
決算審査特別委員会質疑	13
議会視察研修	14
活動報告	15
主な動き	16

発行 ● 千葉県芝山町議会
編集 ● 芝山町議会だより編集委員会

〒289-1692 千葉県山武郡芝山町小池992
TEL0479(77)3922 FAX0479(77)2463

第3回 定例会

議員定数2人削減

次回選挙から
12人に決定!!



みんなで力をあわせて!!

平成23年度決算認定 まちの家計簿徹底チェック!!

一般会計

平成24年第3回定例会は、9月11日から21日までの11日間にわたり開催されました。今回の定例会は、条例・規約の改正、補正予算など8議案と、平成23年度決算認定、議員定数削減を含む発議2件と議員派遣が提案され、決算は議員全員で構成する決算審査特別委員会に、補正予算等は各常任委員会に付託され、3日間にわたる審査の結果、全会一致で原案どおり可決しました。

平成23年度一般会計歳入決算額は、54億6124万円の前年度対比100・4割。歳出決算額は50億1648万円、前年度対比99・5割でした。

歳入

主な歳入は、町税23億6740万円、前年度対比99・3割、1776万円の減額。諸収入9億2452万円、前年度対比

105・5割、4850万円の増額でした。収入未済額は、2億1919万円、前年度対比94・8割、1195万円減少しました。

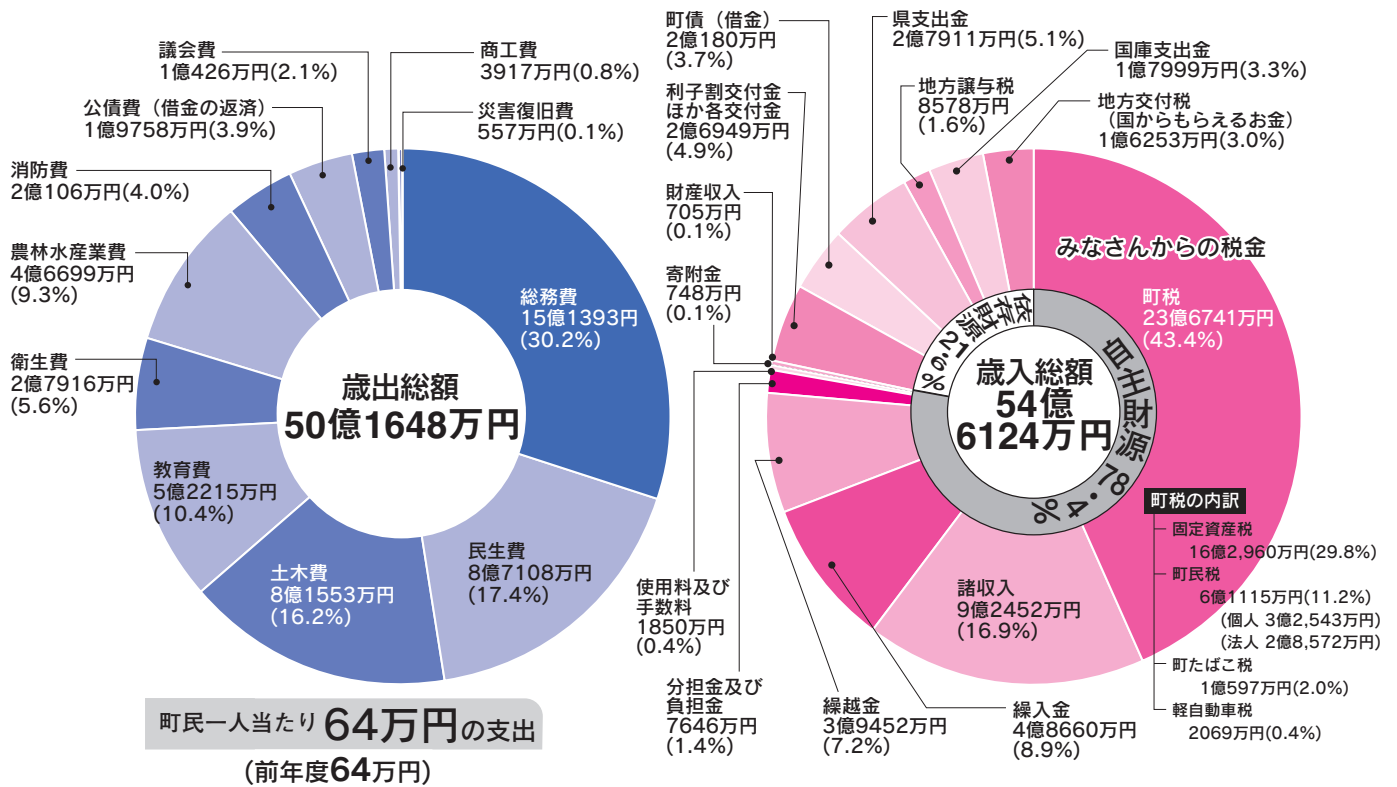
歳出

主な歳出は、農林水産業費・空の駅建設事業等2億7935万円、土木費・道路新設改良費2億3503万円、総務費・

財政調整基金積立金2億1719万円、民生費・保育所費1億8511万円、消防費・広域行政組合負担金1億3763万円などでした。

歳入歳出差引残高は、4億4475万円。歳入歳出差引残高から翌年度に繰り越す財源を引いた実質収支額は3億382万円でした。
〓全会一致で認定〓

〈一般会計決算に内訳〉



平成23年度 会計別決算額

会計名	歳入	歳出	審議結果
一般会計	54億6124万円	50億1648万円	全員賛成で認定
国民健康保険	11億6378万円	10億3920万円	〃
農業集落排水事業	7192万円	7181万円	〃
公共下水道事業	3億5719万円	3億5378万円	〃
介護保険	4億5198万円	4億3750万円	〃
後期高齢者医療	6859万円	6316万円	〃
合計	75億7470万円	69億8193万円	〃

(1万円未満は切捨て)

まちの借金

(地方債)

総額
42億5196万円

町民一人あたり
54万円

〔一般会計…… 24億6191万円
農業集落排水…3億1389万円
公共下水道… 14億7616万円〕

〔前年度対比
99.7パーセント〕

まちの貯金

(基金)

総額
18億8660万円

町民一人あたり
24万円

〔前年度対比
90.0パーセント〕

(平成24年3月31日現在住民基本台帳人口7808人)

9月補正予算

3958万円

(一般会計+特別会計)

9月定例会に提案された一般会計ならびに5特別会計補正予算のうち、一般会計の歳出では、財産管理費の工事請負費、企画政策費の委託料、税務総務費の税還付金及び還付加算金、賦課徴収費の地方税電子申告支援サービス導入に伴う委託料と使用料及び賃借料、観光費の工事請負費、道路橋梁費の道路維持費と道路新設改良費、消防費の消防施設費と災害対策費等を増額し、人件費の組み替えをしました。

主な補正内容

○財産管理費（役場庁舎女子トイレ便器入替工事）	123万円
○企画政策費（モザイク航空写真パネル作成委託料）	166万円
○徴税費（税還付及び還付加算金、地方税電子申告支援サービス導入委託料等）	744万円
○農業振興費（青年就農給付金等）	273万円
○観光費（芝山公園周辺施設案内看板設置工事）	950万円
○道路橋梁費（町内全域路線維持補修等）	4000万円
○消防費（役場非常用発電施設整備調査委託料等）	272万円

陳情

件名	陳情者の氏名	付託常任委員会	審査結果	本会議の採決・意見書
「保育所の設置認可等の基準に関する指針」の内容を「県条例」にすることを求める意見書の提出を求める陳情書	千葉県船橋市本町 千葉県保育問題協議会 会長 田島潤一	総務常任委員会	不採択	賛成なし
社会保障としての国民健康保険制度を守り、改善を求める陳情書	千葉市中央区長洲 社会保障推進千葉県協議会 会長 須木時夫	総務常任委員会	不採択	賛成少数 (賛成1・反対12)
介護保険制度の改善を求める陳情書	千葉市中央区長洲 社会保障推進千葉県協議会 会長 須木時夫	総務常任委員会	不採択	賛成少数 (賛成3・反対10)

議員発議

案件	内容	本会議の採決
芝山町議会・多古町議会 連絡協議会決議	圏央道（大栄・横芝間）の早期着工に関する決議	全員賛成で可決
議員定数を定める条例の一部改正	議員定数を14人から12人とする条例改正	全員賛成で可決



岩澤 達弥
議員

公共交通充実に向けての7つの提案

芝山あいあいタクシー

問 山中、高谷、殿部田、バルールド、

はにわ台団地、あけぼの団地の方々からの要望で始まった定時運行を1年で廃止したが、時期尚早ではなかったか。

答 【町長】利用者が少なかつたので今年4月に廃止しました。また、定時運行に変え12時台の運行を再開したが極端に利用が

少ないので今後も周知

に努めていきたい。

空港シャトルバス

問 観光の面からも運行ルートを「空の

駅風和里しばやま」經由にすべきと提案するがいかがか。

答 【町長】ルート変更は難しいと認識

しています。「空の駅」

は道路、駐車場、他の空き地について、様々な施策を組んでいますので、それらを見きわめさせてもらいたい。

芝山ふれあいバス

問 利用者の少ない土日

を運休すれば、相当額の費用が節約でき、その費用があれば十分利用者の希望に添った時間延長が可能となるがいかがか。

答 【町長】土日の利用状況は平日の約

半分の30人です。9月に高校生アンケート調査を行いますので結果も考慮しながら検討していきたい。

JRバス「多古本線」

問 芝山千代田駅前にぎわい等のため

にも、芝山千代田駅の近くを通っている12往復全便を、芝山千代田駅經由できないか。

答 【町長】JRバスに毎年要望して

ますが実現しておりません。引き続き要望していきたい。

高速バス

問 閑散とした「空の駅」、夜間人気の

ない「空の駅」のにぎわいのためにも、16往復全便を、「空の駅風和里しばやま」經由にできないか。また、(仮

称)第2駐車場を開放すれば町民も利用しやすくなるがいかがか。

答 【町長】高速バスを利用する人は東京

に向かう人で「空の駅」での買い物等の利用はないと思います。高速バスの利用者は利用勝手が良くなりますが「空の駅」にはデメリットはあってもメリットはないと考えます。

成田空港交通「南部線」

問 空港第2ビルと空

港南工業団地を往復している43便を、「空の駅風和里しばやま」經由にすることはできないか。

答 【町長】バスを

使って「空の駅」に行く人は非常に少ないと思います。

利用者は早く工業団地に行き、早く自宅に帰りたい方々です。

多古町シャトルバス

問 加茂、白檮、住母家、千代田地区を

通過しているが、通勤・通学者はもとより町民のために停留所を設置できないか。

答 【町長】多古町の理解がなければ設置できません。多古町に負担金を支払って停留所をつくるメリットはないと考えます。





麻生 孝之 議員

空港の滑走路の運用時間について

問 この夏に2社のLCCが成田に就航し2カ月が経ちました。しかし滑走路の運用時間に間に合わない為、最終便が出発できなくなり、成田に戻ってこられなく、欠航がでてしまっている現状をどのように考えるか。

答 遅延または欠航が生じていることは承知しております。LCCについては、大きな成長が見込まれているなか、成田を拠点とすることで芝山町の雇

用や経済にも多いに貢献するものとし、期待をしています。既に当町ではLCCの関連施設が設置されており、社員寮の誘致もしているところです。

問 国内定期便の着陸に限り、滑走路の運用時間の緩和を検討してみています。

答 騒音対策を充実していくことが大前提であるが、運航実態を把握してうえで問題を点を整理し、関係者の意見を聞くなど勉強することから始めたい。

一方で30万回合意にあたり提案した騒音直下対策を着実に実施し、なにより騒音下住民の

方々の理解が必要と考える。

問 緩和をする代わりに、11時代を回った深夜便の航空会社から騒音対策としてペナルティーを取ってみては。

答 一案だと思えますし、海外の空港でもこういった方法をとっている事実もあります。

問 22時台の便数の制限(1日10便以下)についても緩和してみては。

答 空港が国際空港としての社会的役割を担っていくには、一定程度必要なことと考えますが、22時台の増

公共交通に ついて

便は騒音の大幅な増加につながる為、騒音下住民の生活環境や空港機能のバランスを考え、慎重な検討をしていく、それからのことだと認識をしている。

問 「6月議会で指摘した、ふれあいバスの午前6時台の運行について」芝山千代田駅6時54分発、松尾駅7時35分着のバスが、7時34分発の総武本線下り調子行きの電車に乗れず、横芝、八日市場方面に通学する高校生が使用できないという内容でありました。が、その後の対応、進捗状況について。

答 「企画政策担当課長」住民等の要望も踏まえ空港南部地域公共交通会議に諮り、

陸運支局に打診をして許可がおりれば、10月1日から

5分早めて運行時間を変更します。千代田駅発6時49分発、改正の時刻表案では7時28分松尾駅着になり、34分発の電車に間に合うと思います。が、東京方面から芝山鉄道の乗客が数名小池まで通勤で利用されており、両方が

良い形をとると、ぎりぎりの時間であると考えます。とりあえず試験運行をし、なおかつ乗れないというような状況がありましたら、もう少し大きな変更をしなくては考えます。なお変更についてはバスの掲示板や広報、停



留所に変更の張り紙を貼付し、ホームページ、防災無線等で繰り返しアナウンスすることで周知の徹底を図ってきたい。

人口問題について

問 3月議会で人口問題について触れた際にでてきた、町営住宅についてその後どのように考えるか。

答 「町長」8月に職員による先進地視察を実施しました。その報告を踏まえ、関係各課との意見調整を行い検討していきたい。



小嶋 秀樹 議員

社会保障と税の一体改革について

問 社会保障制度、いわゆる年金・医療・介護・子育ての現況と将来についてどんな見解を持っているか。

答 【町長】 先般の国会では、社会保障制度改革の具体的な対策は何も決まりませんでした。今後のことは「国民会議」に委ねられることになります。高齢化による年金・医療・介護へのニーズ、少子化による子育て支援へのニーズが高まっています。しかし、経済の停滞による恒常的な税収不足により、将来の社会保障を維持出

来なくなることが予想されます。

問 消費増税の是非についてどのように考えるか。また、増税が町民の暮らしにどんな影響を及ぼすと考えているか。

答 【町長】 今回の増税は社会保障の安定化と財政の健全化を同時に実現するための改革です。現在の国と地方の財政状況を考慮すると、いたし方ないものと考えます。次代に負担を先送りすることとはできません。町民への影響は多少あると思いますが、賢い消費

者になっていただきたいと思います。

問 歳入歳出の観点から、3年後の消費増税が町の財政にどんな影響を与えるか。また、地方分権の推進により、町への賦課徴収等の役割拡大はないのか。

答 【財政担当課長】 歳入は国からの交付金が現在より増えます。しかし、歳出では社会保障4分野のうち、医療・介護・少子化対策に要する費用が増加します。また、賦課徴収業務が町に移管されることはないと考え

えています。

問 歳入の項目にある地方消費税交付金の内容とその算定基準は何か。また、消費増税後、本町への地方消費税交付金の見通しは。

答 【財政担当課長】 現行税率5%のうち1%は地方消費税分です。その中の半分が県、残り半分が人口割りと従業員数によつて市町村に交付されています。23年度の本町への交付額は約1億3400万円でした。消費増税後、税率10%のうち2.2%が地方消費税分となりますので、本町への交付額は約2倍強の増額となると予想されます。また、地方交付税もある程度増額されます。

環太平洋連携協定について

問 TPPへの参加により考えられる問題点、特に本町農業と地域経済に与える影響は何か。また、これに対応するための施策を事前に考えているか。

答 【町長】 TPPへの参加には反対です。参加すれば、安い農産物の流入により、農業産出額が減少し、食料自給率は現在の40%から14%まで下がるなどの試算もあります。本町農業も打撃を受け、地域経済の様々な分野に悪影響がでると考えています。しかし、現段階でその影響を予測することは困難なため、事前の対策はありません。





堀越 保夫
議員

子供医療費ついに中3まで拡充!!

子育て支援

問 中3までの通院費を含めた助成を私からの発議として町議会の総意として、要望したが進捗は。

答 【町長】12月診療分から通院も含め、現物給付にて中学3年生まで拡充する。

問 25年度から千葉市消防局より、メール配信が行われるとのことだが、内容は。【町長】指令センターにて指令業務

が、共同化され25年度の開始に向け準備中。詳細は明らかでないが、スムーズな切替え運用が図れるよう努力する。



防災無線

問 消防職員、団員以外にも配信可能か。また地震・津波・大雨洪水・落雷・竜巻などの情報も配信されるのか。

答 【総務課長】一般住民向けのメール配信も開始に合わせ行われる。他、詳細は今後周知していく。

問 防災無線の見直しはもろんだが、

問 防災無線の増設、移動、改修等を考えていくべきと思うが。

答 【町長】設置当時から環境変化も踏まえ時期は指定できないが、音達範囲の調査等をし、再検証も必要と考える。

問 防災無線の見直しはもろんだが、

防災メールを町独自で行うことはスピーディーな情報伝達の重要性から考えていくべきと思うが。

答 【総務課長】3つのキャリアが行う安価で有効なエリアメールを研究、検討していきたい。

町ホームページ

問 さらに多くの方にご覧いただけるような策は。

答 【町長】今年度、高齢者に向け、閲覧方法に関する講習会を開催する予定。

問 以前、提案した新着時のメール通知についての研究状況は。

答 【町長】新たな配信サービスを利用することになり、職員の手間、費用も別に発生するので、現状利用が望ましい。

問 SNS*であるフェイスブック等とホームページをリンクさせている行政も多くなり、当町でも様々な面から検討、活用していくべきと思うが。

答 【町長】現在のものも活用しながら、そういったことも含めて研究していく。

*SNS*インターネット上に交流の場を提供するサービス

人事考課

問 23年度における達成度は。

答 【町長】ポイントは面談であり、その中で仕事以外の相談等で上司と部下の信頼関係に大きく貢献している。

①目標や達成に向けた手法を活用して明確にし、目標管理が組織的に共有できるようになった。

②今まで以上に知恵や経験が人から人へと伝えられるようになった。

③一人一人が現状を診断、分析して、研修参加などの対策を見出せるようになった。

問 達成度等を賞与の査定や昇格の判断材料にしていく考えは。

答 【副町長】即答は控えるが、成績も向上できるよう面談をしていくので期待してほしい。

問 人事考課・機構改革等で訪れやすい役場づくりはできているか。

答 【町長】自分で何かを考え、行動していくことが人事考課の要と考える。また、機構改革により、訪れやすいというより、わかりやすい町役場になってきていると思う。



木内 正光
議員

高齢者福祉計画

問 高齢者支援対策はどのように遂行しているのか。

答 【町長】この計画は4つの基本方針、元気で活躍できる社会の実現、住み慣れた地域で健康で暮らし続ける、社会自立し尊厳をもって住み続けられる社会の実現、安心、安全な地域環境づくり、この施策に沿った高齢者への支援対策を進めます。

独居老老介護等の支援強化

問 一人暮らしの高齢者や老老介護等の支援対策を考えているのか。

答 【町長】福祉協議会の皆さんや地域の方々の力をいただき、高齢者の方々が安心して住み続けられる地域実現の為に支援を行っています。

問 地域包括センターという部署の業務内容は。

答 【町長】地域包括センターには保健士と介護福祉士がいま

まちづくりについて

す。老老介護の方々にアドバイス・相談・悩み事など様々な業務を行っていき、皆で見守れる行政や地域を我々は作っていく必要性がある。

問 第四次芝山町総合計画はどのような計画か。また、駅前一号線、千代田地区駅周辺の整備進捗状況は。

答 【町長】芝山千代田駅周辺を第一期の重点整備エリアと定め、都市の根幹となす道路を整備し企業や地

域の方々の意見を重視します。空港周辺都市の立地を構築し、町の方針は、千代田この2つの核を前進させた

町道の維持管理方法

問 小原子の町道に道幅を狭くしているガードレールがあるが排除する考えは。

答 【町長】町道パトロールや地域住民からの通報により計画的に実施し、安全な通行が図られるようにしたい。

問 小原子区

から飯櫃区県道までの拡幅計画はあるか。



小原子区内町道

問 北部地域住民の民意であり、町民の声を重く捉えて旧出張所の再開

旧出張所の再開



小原子区内町道

答 【町長】指摘のあった町道の整備計画はないが、他の計画路線整備と踏まえ考えていきたい。

停留所設置

開を考えるべきと思うが。

答 【町長】やすらぎの里にあった出張所の再開は難しい。

問 国道296号線を多古シャトルバスを交流通バスとして利用が出来ないのか。加茂と空港間に停留所設置の考えはあるか。

答 【町長】多古町の空港シャトルバスのルートは本町の大里地区、千代田地区を通過しているが多古町の理解が得られなければ設置する事が出来ない様々な議論を尽くさなければならぬので少し検討の時間が欲しい。



伊橋 寿夫
議員

空港関係について

成田空港地域共生・共栄会議について

問 成田空港地域共生委員会に代わる新たな組織として平成24年4月成田空港地域共生・共栄会議が発足され、地域住民と空港の共生、空港を核とした地域の共生を図りながら、今後の地域と空港のあり方を検討する事と位置づけられております。

現在30万回までの容量拡大が容認されています。

る中、委員会としての新たな取組、事業の計画はあるのか

答 当町から三名が本会議の委員となつ

ております。昨年の事業実績は9市町の自然、風景、イベントを題材とした第一回フォトコンテスト、本年度は空港周辺9市町共通、観光マップの作成予定となっております。今後とも空港と地域を結ぶ第三者機関として共生、共栄の実態を検証する機会であると考えます。



成田空港都市づくりについて

問 9市町が国際空港としての機能を生

かし、空港周辺地域の一層の活性化を図ることを目的に概ね10年を目標とし、平成21年度に成田国際空港都市づくり9市町プラン策定しました。組織が掲げている都市づくりテーマ「そら、まち、みどり」が共生するゲートウェイ都市づくり」に町としての様に推進会議に参画していくのか。

答 9市町プランでは、国、県への要請、NAAへの要請、9市町の共同事業、市町の連携・個別事業あり、当町の駅前一号線や空港南側道路の整備

等もこの9市町プランのひとつでもあります。地域においても空港の利便性や発展に繋げるためにIR、MICEなどの提案、空港を活用しての農業生産物の輸出等の事業に向けては、成田空港都市

農業関係について

基幹産業でもある農業の六次産業化へ向けた取り組みについて

問 一次産業でもある農畜産物の生産

と、加工、流通販売でもある二次、三次産業と農業者が主体的、総合的に関わることにより、今後、農業をより一層活性化させるための取り組みについて具体的な取り組み計画はあるのか。

答 一部は風和里を活用しての取組、また二次産業についての今後の連携、取組については、町内の六次産業化に意欲のある農業者や商工業者、団体を交え取組に向けた話し合いの場を設けながら、積極的に支援を行っています。

づくり推進会議としては大きな役割を担っていると思います。



全員協議会質疑



7月24日

教育問題

問（伊橋議員） 大津でいじめ自殺の問題があったが、当町はどうか。

答（教育長） 現在、いじめの話は上がっていないが慎重に取り組んでいきたい。

問（平山議員） 廃プラの放射能測定について。また、成田市のような個人搬入を当町も考えていくのか。

答（農政振興担当課長） 測定は明日から3日間行う。個人搬入は廃プラ協議会で相談、検討していく。

問（小嶋議員） 9月から、ポリオワクチンが不活化に変更されるが、町負担は。

答（福祉保健課長） ポリオ予算は準備中で、9月補正で対応する予定。

議員のみの協議の中で岩澤議員から、高谷川改修の要望を国、県に対して行ったらどうかとの意見があったが、浚渫を優先すべき等の議論の結果、当面見送られる形となる。



8月24日

学童クラブ

問（麻生議員） 来年度の学童クラブの募集は、学校からも通知するべきと思うが。

答（福祉保健課長） 学童の3か所とホームページで募集する予定。

問（麻生議員） 保護者が納得できる対応をしていただきたい。

問（萩原議員） 要望は増えているとのことだが対応は。

答（福祉保健課長） 学校統合も考慮し、来年度は増やす考えはない。

問（萩原議員） 統合は少し先であり、学童の問題は現在の話だと思うが。

問（伊藤議員） 芝小は現在でも定員を超えており、さらに多くなつてからの対応では遅いと思うが。

答（福祉保健課長） 来年度の検討はまだしていないので、時間をいただきたい。

問（堀越議員） 来年度の募集人数を予想することはできると思うが。また、勤務証明書だけの判断では不公平もあると思うが。

答（福祉保健課長） 予想は難しく、勤務証明書での判断しかないと考ええる。



9月6日

圏央道説明会

問（岩澤議員） 圏央道の排水に伴う高谷川大規模改修の予定はないのか。

答（山崎課長（国）） 調整池に一旦、溜めて流す。改修予定はないが意見は上げたい。

問（平山議員） 地区からの要望への対応は。

答（山崎課長（国）） 今後、行う説明会で出た意見を集約していきたい。

問（石田議員） 大栄―稲敷間、横芝―大栄間の開通予定・見込みは。

答（川崎副所長（国）） 大栄―稲敷は25年度予定。横芝―大栄は、10年後くらいを目標にしたい。

9月議会提出議案について

問（伊橋議員） 保育料・時間の改正があったが他市町は。

答（福祉保健課長） 近隣市町に合わせた形であり、延長は5時から、月500円いただく。4時半から30分は猶予時間。

問（岩澤議員） 30分の猶予時間は必要なく、延長分をいただくべきだと思うが。

答（町長） そのような意見もあったが猶予をもつて始めたい。

議員のみの協議の中では、議会中継について話し合われ、実現すべきとの意見が半数以上であったが、予算のことも考慮し、今後の継続的な議論が必要とのことに。



10月22日

タウンミーティング

問（平山議員） 今後も続けていくためにも、参加人数を増やすべきと思うが。

問（小嶋議員） 参加者が少なかった原因は何か。

答（町長） 呼びかけ不足もあったかもしれないので、周知方法や今後、実施するか、しないかも含め検討していきたい。

町キャラ報告

答（農政振興担当課長） 応募が締め切られ、328作品が集まった。今後は町キャラ部会で、最終決定時期を焦らずに、スケジュール等々、検討していく。

議会中継について

前回に引き続き半数以上の議員は、導入すべきとの見解であったが、導入済の近隣市町の様子を見てから、また、議員の資質の向上が図られてから等、反対の議論も交わされた。予算が安価でないことも、今後の判断材料にするべきとの意見もあり、来年、25年度の予算には、議会中継分を要望しないとの結論に達する。

まちづくり常任委員会質疑

9月13日

観光振興について

問（平山議員） 芝山公園を今後どのように進めるか。

答（町長） はにわ道周辺に案内板を設置し、池や道路の整備を検討する。

問（川口議員） 中台坂下からの道路拡幅について横芝光町に要請はしているか。

答（町長） 拡幅延伸について協議したい。

問（伊藤議員） 芝山公園の遊具等の増設は。

答（都市下水道担当課長） 現在の公園再整備計画が今年度で終了。以降順次要望していきたい。

問（岩澤議員） 計画中の案内板に町のキャラクターを入れたらどうか。

答（農政振興担当課長） 時期によるが検討したい。

道路管理について

問（川口議員） 町内各地に木の枝等で危険な箇所があるが。

答（地籍建設担当課長） 所有者に確認し処理している。

問（岩澤議員） 空港南側道路完成後の不法投棄等が心配されるが。

答（地籍建設担当課長） マナーを見守りたい。

問（伊藤議員） 道路や宅地に大雨で土砂等が流出している箇所がみられるが。

答（地籍建設担当課長） 相談があれば対応していると同時に見回りもしている。

公共下水道について

問（戸井議員） 加入率65%だが増やす方法は。

答（まちづくり課副主幹） 広報やホームページ等で加入啓発をしている。

総務常任委員会質疑

9月13日

防災会議条例、災害対策本部条例の改正

問（麻生議員） 委員の中に自主防災組織とあるが内容は。また企業の防災組織も入るのか。

答（総務課長） 目的は消防団と一緒に、企業の中にある防災組織は境がはっきりしていない。

問（内田議員） 条例が改正される地域防災会議の内容は。

答（総務課長） 町防災計画があるが、8月6日県が計画を作成それを受け市町の計画を変えていく。

問（小嶋議員） 災害対策基本法の一部改正により防災会議を設置するののか。

答（総務課長） 東日本大震災で一部改正となり、それを市町が受けて改正しなければならなかった。

保育所の設置・管理に関する条例の改正

問（小川議員） 保育士職員のオーバーワークはどの程度発生しているのか。

答（福祉保健課長） オーバーワークにならないように保育士職員14名臨時27名で対応している。

問（麻生議員） 改正点の周知方法は。

答（福祉保健課長） 各保育所より保護者に文書で通知します。

一般会計補正予算

問（内田議員） 非常用発電施設調査委託料の内容は。

答（総務課長） 東日本大震災規模の地震が起きても、最低限度の72時間、役場本庁舎と中央研修所の電源が確保できるように施設を考えています。

問（小嶋議員） 障害者虐待防止対策支援事業の内容は。

答（福祉保健課長） 10月に虐待防止センターが設置され、担当職員は24時間連絡を受ける体制をとります。

23年度決算審査特別委員会

総務関係

一般会計

問（岩澤議員） 空港周辺対策交付金が30万回離発着を受け入れたにもかかわらず減ってしまったのはなぜか。

答（企画政策担当課長）

昨年の震災の影響で離発着回数が減っている。飛行回数が増えないと交付金も増えません。

問（伊橋議員） 光ブロードバンドの普及率はどのくらいか。

答（総務課長） 町で設置した範囲だけで742件の加入実績があります。

問（小嶋議員） 子供手当の負担割合は。

答（福祉保健課長） 国8割、県1割、町1割となっています。

国民健康保険特別会計

問（小嶋議員） 一般会計から繰入金があるが、特別会計で賄えきれなかったのか。

答（町民税務課長） 法定内繰入のみです。他市町村では約半数が法定外繰入で一般会計から繰入れています。

介護保険特別会計

問（岩澤議員） 移送サービスを利用されている方は。

答（福祉保健課長） 認定者275名中120名が登録。内16名が利用しています。

後期高齢者特別会計

問（岩澤議員） 普通徴収者（納付書で納付）の割合が多いが基準は。

答（町民税務課長） 年金額が年間18万円以下の方は天引きできないため、個人に納付書を送り、納めてもらいます。

まちづくり関係

一般会計

問（堀越議員） 不法投棄監視員の権限はどこまであるのか。

答（まちづくり課長） ごみ等の監視、投棄時の報告で立ち入り等はできません。

問（内田議員） 太陽光発電の補助金で、漏れた方はなかったか。

答（まちづくり課長） 23年度は5基分で足りましたが24年度は10基分の予算があります。

問（岩澤議員） 農業委員の定数18名を変更する考えはあるか。

答（町長） 本町の一番の産業は農業であり、来年2月の選挙の定数を変える予定はありません。

問（小嶋議員） 風和里の決算は公表できるのか。

答（町長） 公表するよう進めます。

問（戸井議員） 補助金の中に商工会フィルムコミッションの予算はいくら含まれているか。

答（町長） 23年度から40万円とし、今後も支援していきたい。

問（平山議員） 繰越明許となっている事業の進捗は。

答（地籍建設担当課長） 駅前排水路整備について入札を予定しているので議決をお願いすることになります。

問（伊藤議員） 総合運動場の改修が必要ではないか。

答（町長） すべての施設が老朽化しており、順次進めたいが時間をもらいたい。

農業集落排水特別会計

問（岩澤議員） 収入未済が増える一般会計からの持ち出しが増えてしまうので徴収は頑張ってもらいたい。

答（都市下水担当課長） 繰入金金は年間七千万円位で推移していますが、大きな改修が発生すれば厳しくなってしまう。

公共下水道特別会計

問（小嶋議員） 加入率で農排90%に比べ、67.3%は低くないか。

答（都市下水担当課長） 理解が得られない部分がありますが説明会の度に加入をお願いしています。

議員視察研修

●10月15日～17日●

総勢17名にて三重県に視察に行つて参りました。初日は人口増に取り組む朝日町を訪問し、町長をはじめ、議長・関係職員の方々の丁寧な説明を受け有意義な議論を行うことができました。内容は「日本一の町をつくる」ということで、総事業費約113億円で2カ所の土地区画整理事業を行い、その結果人口がH12年6716人からH24年9月、9915人まで増加し、世帯数も2302世帯から3634世帯まで伸びたそうです。

子供人口の増化に伴い、医療費の助成など子育て支援等の施策も充実させ、幼保一体化を実現し、その施設を訪問させていただきました。現在15歳以下の人口の割合が全体の約22%とのことです。

2日目は同じく三重県伊賀市の「もくもくファーム」を視察しました。メディアなどでも取り上げられておりますが「農業の新しい価値の創造」という理念のもと、農業の6次産業化を目指し生産から販売、サービス（農業公園、レストラン、宿泊）教育（食育学習、貸し農園）に至るまで取り組み、成功をおさめています。

本町にも風和里などの施設があり、基幹産業である農業と共に、6次産業化に向けて、この研修が活かさればと思います。

三重県朝日町



三重県伊賀市「もくもくファーム」



活 動 報 告

町消防団操法大会

7月29日



芝山中学校体育祭

9月8日



敬老会

9月16日



小学校統合住民説明会

9月22、23、29日



町民体育祭

10月8日



タウンミーティング

10月20、21日



主な動き

7月 24日	全員協議会	9月 22・23・29日	
29日	町消防団操法大会		小学校統合住民説明会
8月 24日	全員協議会	10月 8日	町民体育祭
9月 6日	全員協議会	10日	「議会だより」編集委員会
8日	芝山中学校体育祭	15日～17日	議会視察研修
11日～21日		20日・21日	タウンミーティング
	第3回議会定例会	22日	全員協議会 環境衛生組合視察
16日	敬老会	23日	「議会だより」編集委員会

平成24年 第4回芝山町議会定例会のお知らせ

期日 **12月4日(火)～**
12月7日(金)(予定)

多くの方々の傍聴をお待ちしています。

※日程等の詳細は議会事務局へ TEL77-3922

編集後記

涼しい秋風が吹く頃、澄み渡る秋空と色鮮やかな紅葉の便りが届く季節となりました。
稲の刈取りも放射能の影響もなく、無事出荷も終わり安堵していることと思います。

町は今、少子高齢化の中、出生率の低下が続いております。
このような状況の中で、小学校の統合という苦渋の選択肢が議論されております。

課題の多い芝山町ですが「豊かなまちづくり」を願い、我々も町民の皆様がたと一緒に頑張りますのでよろしく願います。

編集委員一同

